

Medical Prep School

北大・医大進学塾

2025-2026

■冬期講習

(大学入学共通テスト対策講座)

■2次対策スペシャル講座

高2・3生
高卒
再受験生

入試直前の学習が
合格を決める

▶▶ 直前学習に集中没頭せよ ▶▶

<合格は学習環境で決まる>

受験のプロ集団。ここに集結。

道内最高のプロ・スタッフが
「少人数授業」+「個人指導」による
合格指導を展開しています

共通テスト高得点対策～「考察→正解」の流れをスムーズに

共通テストが新しく導入されて今年度で6回目の試験となります。共通テストが日常卑近な題材を使って思考力や判断力、表現力などを考えさせて解かせることを狙いにしているのであれば、選択肢を与えてただ正解を導く作業の前に、その正解にまで至る「論理的な思考」が問われます。つまり、思考の流れ(＝論理の運び)がまず問われます。この点から考えて、以前のセンター試験より解答を導くまでの思考に時間を要し、論点の洗い出し、題意を見抜く等々、迅速かつ正確な処理能力が要求されます。

解法過程を素早く具現化するマーク式問題処理力を高め、試験時間内における論理構成に費やす時間を補う必要があります。そのための訓練を入念にしておくことが勝負のカギとなります。

共通テストの過去問は5年分しかありませんが、少なくとも次のような点がポイントになってきます。センター試験レベル同等の難易度、何題かはスツと解答にまで行きつけない、論点整理に時間を要する、問題点をどう把握・整理すべきかに悩むような問題など、見方を変えれば問題全体を俯瞰して題意を見通す力をみる新傾向問題も昨年同様に今年度共通テストに含まれます。だからこそ、従来型のセンター試験対策のような客観形式問題の正答を素早く導くマーク感覚を本番までに十二分に養っておく必要もあります。

■英語

速読によるパラグラフリーディングの練習は必須です。精読かつ速読して、意味の切れ目をキチキチと前から英文を読み進めて、一度読んでさっと大意を把握できるという訓練が必要です。また本塾の冬期講習では特に対応しませんが、配点がリーディングと同等になったリスニングには十分に対策をとっておきましょう。市販の教材でもメディア媒体のものでも、色々なネイティブスピーカーの話し方に慣れておく必要があります。話す速さや、男性が話す場合と女性が話す場合とで聞き取りに差がでてくるからです。そのため微妙な発音の違いに耳を慣らしておく必要があります。もちろん、普段の授業での単語力や文法・構文力、イディオムの知識、会話独特の表現など、筆記対策の一般的な英語全般の勉強がリスニング力にも大いに関係することもあります。

■数学

これまでのように卑近な日常の会話形式で題意を読み取る、図表を用いて解釈するというような出題が今年も予想されます。したがって、文章や図表から正確に素早く要点を捉える訓練が必要です。従来型の解法手順を示して解法過程の思考力を評価するという形式のほか、日常生活に見られる卑近な事象について本質的な数学的理解がきちんとできているかを問われることも想定されます。問題文における題意の読み取り段階で「思考力」を問う出題が今年度も予想されます。

■理科

身近な科学現象、見慣れない実験系、複数の資料を読み解かせる形式などの出題が共通テストでは見られます。基本的な理解をした上で、試験本番で考察する能力を問われる傾向にあります。問題文を読んで求められている出題意図や解法手順が頭に浮かぶ、その段階での取っ掛かり部分の正確な把握が大事です。最初の「目利き」が可否を大きく左右する可能性があります。素早く題意を掴んでその後の解法がスムーズに展開できるように、問題処理に「こなれて」おくことが重要です。

=== 冬期講習（12/26～1/8） ===

共通テスト対策講座 & 高1・2生向け英文法講座

クール	授業時間	講座名
第1クール 12/26～12/30	13:30～15:30	共通テスト対策国語(現代文・古文・漢文)
	15:40～17:40	共通テスト対策物理 <私大医学科にも対応> 冬の実戦英文法SP <私大医学科にも対応>
	17:50～19:50	共通テスト対策化学 <私大医学科にも対応>
第2クール 1/4～1/8	13:30～15:30	共通テスト対策数学ⅠA <私大医学科にも対応>
	15:40～17:40	共通テスト対策数学ⅡB <私大医学科にも対応> 冬の実戦英文法SP <私大医学科にも対応>
	17:50～19:50	共通テスト対策英語(読解・内容把握) <私大医学科にも対応>

■授業形式

英語・英文法 : 120分解説授業
 数学・化学・物理・国語 : 120分(テスト演習+解説授業)



■個人指導

授業を教えてくれる先生に直接すぐ聞けるのがポイント！



■本棚と個人指導コーナー

赤本や教材がたくさん！塾生は好きな時に好きなだけ閲覧することができます！

=== 2次対策スペシャル講座（授業：1/22～2/13 面接指導：2/14） ===

解法理論を理解し＜解ける問題を確実に解け＞

本講座は、北大(医)、札幌医大、旭川医大、弘前大(医)などの医学科をはじめ、北大・東北大などの難関大2次試験攻略のための講座です。本講座は毎年試験本番の問題を高率に的中させています。

本講座では、2次試験までの約4週間で、本番頻出問題について徹底的に分析・解説します。難問や新傾向問題に対しても、着眼から解答にいたるまでの解法を詳細に示します。国公立大は出題意図ともつながる「解法理論」をしっかり理解しているかが試されます。出題者の意図を見抜き、理論を踏まえた確実な解法手順を正確に身に付ける学習を積み重ねてください。

この1年間の総復習もかねて、実戦的な訓練が十分にできるようにテキストも作られています。この2次スペシャルのテキストから本番に酷似した内容の問題が出ることも多いです。本塾が長年受験生を志望校合格に導いてきた、この独自のプログラムで2次試験対策の総仕上げを万全にして、自信をもって本番入試に臨んでください。

	1/22(木)	1/23(金)	1/24(土)	1/25(日)	1/26(月)	1/27(火)	1/28(水)	1/29(木)
1限	数①	物①	物②		数②		物③	数③
2限	化①	英①	英②		化②		英③	化③
	1/30(金)	1/31(土)	2/1(日)	2/2(月)	2/3(火)	2/4(水)	2/5(木)	2/6(金)
1限	物④	数④		数⑤		物⑤	数⑥	物⑥
2限	英④	化④		化⑤		英⑤	化⑥	英⑥
	2/7(土)	2/8(日)	2/9(月)	2/10(火)	2/11(水)	2/12(木)	2/13(金)	2/14(土)
1限	物⑦		数⑦			数⑧	物⑧	面接指導
2限	英⑦		化⑦			化⑧	英⑧	

※表中の英は英語、数は数学、化は化学、物は物理を表します。数字は授業回数です。

■授業時間 1限 16:10～18:20 2限 18:30～20:40 各講座途中休憩10分程度

■解説講座 北大・医大英語 北大・医大数学 北大・医大物理 北大・医大化学

■面接指導 全体指導+個人指導(各30～60分程度)

2次対策スペシャル講座を受講された方は無料で受講することができます。

詳しい時間は、2月に入ってからお知らせします。

★最後に合格を確実にするために二次科目を一通り受講することを強く推奨しています。

注意事項

1. 各講座は8名限定のため、定員になり次第締切りとなります。
2. 欠席した場合でも学費の返金はできませんので、事前にご了承ください。
3. 開塾時間は、原則として1限の授業開始時間の30分前となっています。
事情により開塾時間が遅れることもありますので、事前にご了承ください。
4. 授業録画による後追いビデオ学習はできませんのでご了承ください。

塾長メッセージ



塾長ワンポイント・アドバイス

＜解ける問題を確実に正確に解け＞

直前の勉強は3倍の学習効果がある

合格は共通テスト終了後から、2次試験までの期間を充実させることで決まります。この時期の勉強は通常の「3倍以上の効果」を上げることができます。しかし、やみくもに猛勉強すればよいというものではありません。選び抜かれ精選された良問のテキストと、経験豊富なプロの指導は不可欠です。

数学・理科は解法理論を理解し確実に解答せよ

国公立大の理系科目では、「解法理論の理解」と「正確な計算力」が問われます。その問題の解法理論を理解することを意識して勉強し、ミスなく正確に解き切る練習を十分に積み重ねてください。合格者は難問を解いた受験生ではなく、落としてはならない問題をケアレスミスなく正確に解いた受験生です。解ける問題を確実に解き、難問であっても最後まで粘り強く解き切る練習を進めることです。

英語は長文を正確に読み作文で高得点を目指せ

英語長文で高得点を取るためには、「正確に素早く読み解くこと」が重要です。表面的な浅い読解をしたり、時間が足りなくなるような読み方をすると失敗します。また英作文では文法上の間違いをしないことが大切です。そして問題意図を深く読み取ってしっかりとした内容の英文を書くことです。直前期はこれまでの勉強の復習と新しい問題に取り組むことを並行して学習を進めるのが最上の方法といえます。

講師全員現役医学生 個別指導も展開中！

志望大学の問題をピンポイントにやりたい生徒や、
苦手科目を集中的にやりたい生徒にオススメ！
詳しくは個別指導のパンフレットをご参照ください。

講師紹介

■品野健一 先生(英語)

東京教育大学(現筑波大)英語学科卒業後、多くの進学高校で教鞭をとる。札幌南高校在職時には、生徒から「品塾」と呼ばれ、輝かしい実績を残し、その指導には絶大な評価と人気を得ていた。その後、大手予備校に移り、主として東大や医学部をはじめとする難関大学の指導にあたってきた。

長い経験に培われた深く幅広い知識と、明快な理論に裏付けされた授業は素晴らしく、受験生から絶大な信頼と人気を得ている。人柄は温厚で、個人指導もとても熱心で、受験生からの信頼は極めて厚い。授業は生徒の理解度をみながら、重要事項を何度も解説していくため、授業予定時間を超えることもある。先生の英文読解や英文指導の根底には、常に正しい英文法があるが、これは高得点の源であるからである。

受験英語の指導においては、他の追随を許さない道内最高の存在である。

■岸田諒 先生(数学)

北海道大学理学部生物学科卒業後、同大学大学院生命科学院博士において最先端科学分野を学ぶ。生命科学を中心とする理数分野の面白さに学部学生の頃から強く惹かれ、大手学習塾などで数学・化学を中心に教鞭を執る。最先端生命科学領域で日々実験・論文活動も行っている現役の科学者であり、そのため最新の受験問題に出題されやすいトピックに非常に敏感である。これを受験生が理解しやすいレベルで説明することができるため、これまで指導してきた受験生は口々に「数学・理科が好きになった」と言う。

温厚な人柄で、質問の対応も丁寧親切であり、受験生からの信頼も非常に厚い。どんな基本的な質問でも、ゼロから親身になって教えてくれる。そのため数学・理科に苦手意識を持つ学生の救世主となっている。「授業では受験会場で初めて見た感覚で。」「予習は正確に。精度が先。スピードは後。」を方針に、基本的な問題を大切に、その一問を深く理解して本番で応用できる指導を心掛けている。

■大久保政俊 先生(物理)

北海道大学理学部物理学科卒業後、同大学院博士課程で原子核理論を学ぶ。その後、道立高校、理科教育センターを経て、札幌南高校などの札幌市内進学校で教鞭を執る。基本を忠実とする授業に始まり、本番を意識した入試問題までを丁寧にわかりやすく解説する。「大久保先生の授業を聞いて物理が苦手科目から得意科目に変わった！」という学生を頻繁に目にする。入試問題への研究姿勢を持ち続け、各大学の入試問題に潜む高度な物理的思考を真の理解にまで高める授業展開を行う。解法の丸暗記では到底太刀打ちできない医学部入試物理を、本番でも得点源になる理論に裏付けされた確かな物理へと全受験生を導いていく。

医学部合格へのステップとなる物理を合格確実ラインまで引き上げてくれる頼もしい存在である。

■長田淳 先生(化学)

北海道大学理学部化学科を卒業後、同大学院博士課程で有機化学を学ぶ。その後、札幌市内・市外の進学校で化学を中心に物理、生物、地学などの指導も行い、北大をはじめとする難関大に多くの合格実績を有する。どんな複雑な問題も基礎・基本を大切に丁寧にわかりやすく解説するため、苦手意識の克服のみならず、最後には得意科目へとステップアップする学生も多い。押さえるべきポイントや解法論理をきちんと理解することで、これまで丸暗記に見えていた分野も実は理論的に解釈できるという化学の本質を教えてくれる。また、温厚な人柄であり生徒からの絶対的な信頼を築いている講師である。

■灰谷睦郎 先生(国語)

早稲田大学文学部卒業後、札幌東高校などの進学校で教鞭をとる。その後札幌市内の大手予備校に移り、長年、国語・小論文の指導に携わる。灰谷先生が編み出した独自の国語問題読解法「面積読解法」は全国的にも有名で、多くの講師がこの読解法を真似ている。卓越した理論と豊富な経験に基づいた授業は、受験生から最高の評価と信頼を得ている。共通テストから東大・京大などの難関大学の問題まで、オールマイティに指導をこなす。温厚な人柄で分かりやすく解説してくれる個人指導や添削指導は受験生から絶賛されている。授業ではテキストの他に、独自に編纂された人気の高い「入試頻出古語集」や「漢文手帳」などを副教材として配布している。国語・小論文指導においては、道内はもちろん、全国でも屈指の指導者である。

■矢ヶ部俊彰 塾長

北海道大学医学部医学科卒の現役医師、元医学進学塾生。地方高校から2年間本塾の学び舎で本気で勉強し、第一志望に合格した。自身の経験から、受験生の学力面でのサポートのみならず、精神的なサポートも含めたトータルケアを実践する。客観的な分析と、実際に複数の医学部医学科に合格した経験・ノウハウを学生に積極的に還元していく。誰に対しても壁を作らない気さくな性格であり、思いやりのある的確なアドバイスを提供してくれる。

実際に医学部に合格した経験と失敗した経験、苦学生であった経験、そして現役の医師である経験を存分に活かして、学生・保護者の今と未来に実直に向き合う。

合格体験記

札幌医大(医－医)合格 相澤祐花さん(札幌日本大学高等学校)

私は英語をもっと強くしたいと思い、読解の講座を受講しました。第1回全統記述模試(5月実施)では、英語の偏差値が72だったのが、第2回全統記述模試(8月実施)では得点が200点満点中180点で偏差値が75、第3回全統記述模試(10月実施)では偏差値を78まで伸ばすことができました。

品野先生の授業のテキストは、過去に先生が読んだ小説などから抜粋している文章で、品詞や構造を適切に把握していないと和訳が出来ない文章が多いです。そこで先生の「前から訳す」を実践してみることで、意味を崩さずに綺麗な日本語に直すことができるようになりました。それで、模試などでのお行儀のよい文章の和訳が怖くなり、時間も20分以上余るようになりました。

また、授業以外で私は品野先生監修の英作文500題を4月から7月で取り組みました。もちろん、先生から添削されたものは赤ばかりでした。しかし、英訳での意識の程度・使う構文などで先生から指導を受けたことで、以降は自分が扱いきれる文法の範囲で気をつけて書くようになりました。おかげで本番の試験でも、英作は大きなミスはしていないだろうという感触で終えることができました。

品野先生がいなければ、英語をここまで伸ばすことも、英語を得意科目のひとつだと自信を持って言えることもなかったと思います。1年間楽しく英語を勉強することができました。本当にありがとうございました。

旭川医科大学(医－医)合格 匿名さん(札幌北高校)

全教科を受講していたため、塾の授業日が週に4日ありました。学校の授業の勉強の他に、塾の授業の予習・復習を全てこなすには勉強時間を大幅に増やさなければなりません。私は、1・2年生の時にあまり勉強をしていなかったため、学校と塾の両立は大変でした。ですが、やらなければならないことはどれも妥協をせずにできるだけやりたいと思いやっているうちに、自然に勉強時間が増え、ギリギリではありますが、ほとんどをこなせるようになりました。

英語は、学校なら1年生でやるような文法の基本的なところから教えていただけました。英語が苦手な、文法力に不安があった私にとってはとても助かる授業でした。予習・復習の量がとても多く、他の教科よりも時間がかかり大変でしたが、予習・復習を通して文法力を高めることができました。

数学は、解法のパターンや問題を解く際に気をつけるべきことを何度も教えてくださったおかげで、自分で問題を解いていて、行き詰まった時に非常に役立ちました。

物理は、基本の基本のところから説明していただけたので、苦手な単元の問題でも授業を理解しやすかったです。

化学は、豆知識をたくさん教えていただけたおかげで、覚えるのに苦労していた暗記事項も豆知識と関連づけることで覚えることができました。

国語は、読み方や、チェックポイントなど、基本的なことから教えていただけました。そのおかげで、文章を全く読めず問題にも手が出せない状態から、徐々に改善することができました。

また、学校の行事や、講習の予定に合わせて授業の振替に柔軟に対応していただけたおかげで学校と塾を両立することができました。

短い間でしたが、本当にありがとうございました。

マイ・フィロソフィー

受験時代は

誰のものでもない

自分自身のたった一度の

生をみつめ

未来を実現するために得た

貴重な時間だ

自らの計画にしたがって

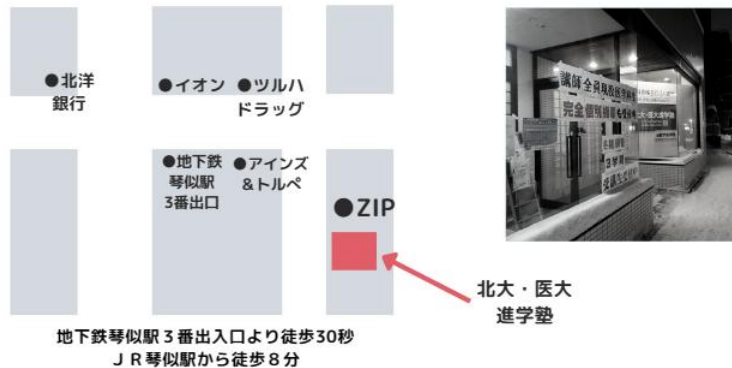
克己の精神と

勇気をもって

自分自身の生涯をつらぬく

熱いものを

精一杯追いたまえ



講師全員現役医学部医学科生の
完全個別指導も展開中！
オンラインもはじめました！

北大・医大進学塾

〒063-0811 札幌市西区琴似1条4丁目4-10

TEL/FAX 011-613-2724

<http://www.igaku-mps.com>



HP



塾長ブログ



LINE
お問い合わせ専用